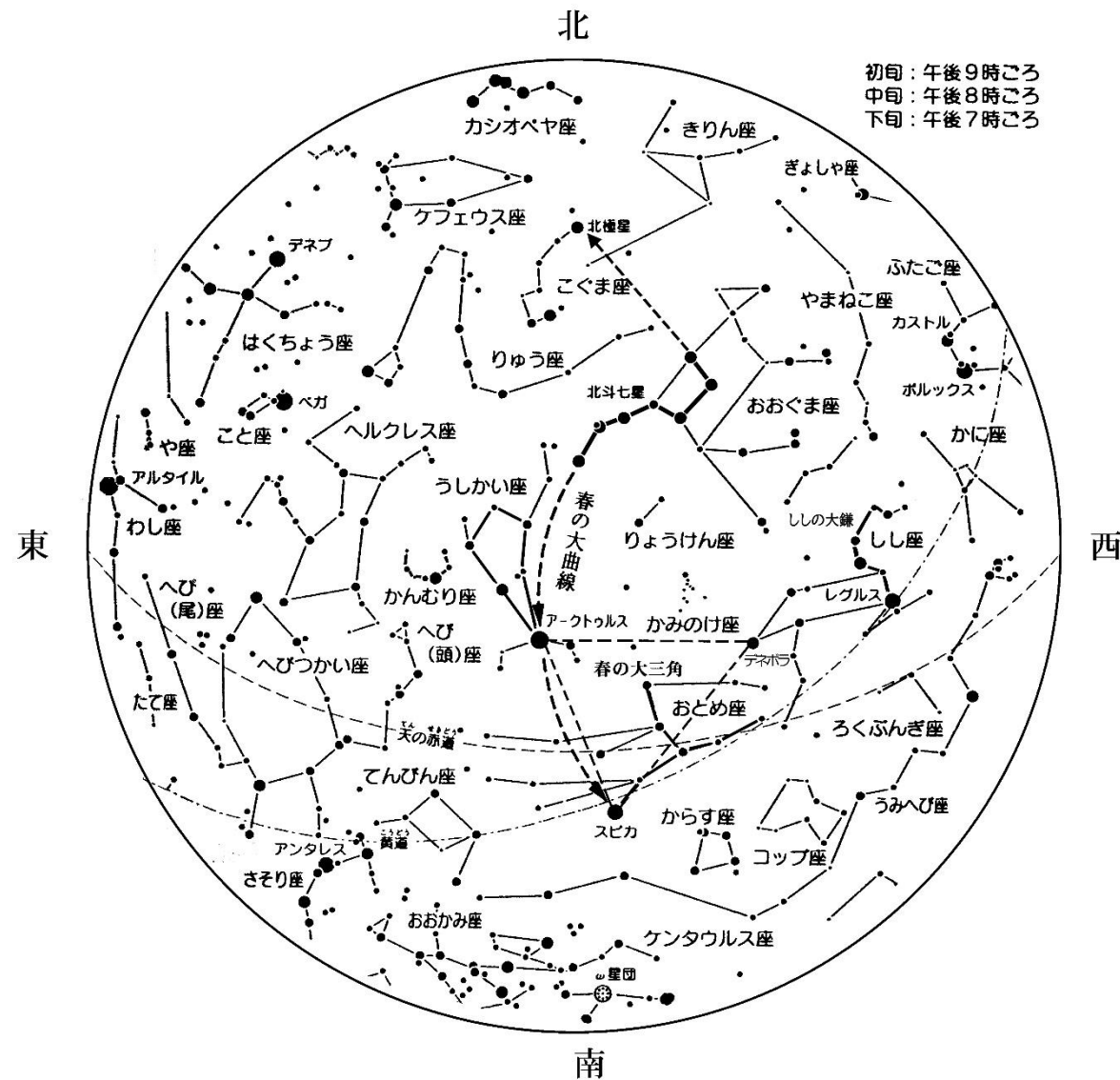


# 令和2年 6月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~



## ★6月の星空案内

今月の星空では、まず北の空の7つの星でできる「ひしゃく」のような星の並び、北斗七星を見つけましょう。この「ひしゃく」の持ち手のカーブを南へのぼしていくと、うしかい座の1等星アークトゥルス、さらにのぼすとおとめ座の1等星スピカが見つかります。北斗七星からスピカまでのカーブを『春の大曲線』といいます。うしかい座はアークトゥルスから「ネクタイ」のような星の並び、おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。この2つの星と2等星のデネボラを結んでできる三角形が『春の大三角』です。デネボラは「ししのしっぽ」という意味で、ここにはしし座があります。しし座を探すには、『ししの大鎌』というデネボラの西にある1等星レグルスから「?マーク」を裏返したような星の並びを見つけてもいいでしょう。うしかい座の東側には、小さな半円形のかんむり座があります。明るい星はありませんが、整った形をしているので街明かりの少ないところでは見つけることができるでしょう。

### < 現在見える惑星 >

水星(2.8等前後):ふたご座付近	日の入り後、西の低空で輝く。(上旬)
金星(-4.2等前後):おうし座付近	観測に適さない。
火星(-0.3等前後):みずがめ座→うお座付近	夜明け前、南東の空で赤く輝く。
木星(-2.7等前後):いて座付近	夜明け前、南南西の空で明るく輝く。
土星(0.3等前後):やぎ座付近	夜明け前、南南西の空で輝く。

### 注目の天文現象 ~日食(部分食)を楽しもう~

6月21日の夕方、日本全国で部分日食を見ることができます。日食とは、月が太陽の前を横切るために、太陽の一部または全部が隠されて見える現象です。太陽の隠され方により、太陽の一部が隠される「部分食」、全部が隠される「皆既食」、太陽の外側が細い輪のように残る「金環食」の3種類に分けられます。【図1】今回日本で見られるのは太陽の一部が隠される部分食ですが、アフリカからアジアにかけて一部の地域では金環食が見られます。久留米では15時59分56秒から欠け始め、17時9分56秒に最大に欠けます。その後、徐々に欠けている部分が小さくなり18時11分50秒に終わります。【図2】最大に欠けた時で面積比の53%が欠ける、ここ数年で最も大きく欠けた部分食となります。太陽の半分が隠され、地平線に近づいて光が穏やかになったように感じても、日食の観察には十分な注意が必要です。太陽が強い光と熱を出していることに変わりはありませんので、肉眼で直接太陽を見ることは、短時間であっても危険です。日食グラスなど専用の器具を使って、安全な方法で観察しましょう。2019年は2回、そして今年は1回と、近年は日食が見られる機会に恵まれています。しかし次に日本で日食が見られるのは2030年6月と10年も先です。ぜひこの機会を逃さず、日食を楽しんでみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	木	水星が東方最大離角 (22:07)	21	日	夏至 (06:44) 久留米市の日の出 (5:09) 日の入り (19:31)
6	土	○満月 (04:12) 半影月食 (最大: 04:25)			●新月 (15:41) 部分食 (久留米: 食の始まり 15時59分56秒 食の終わり 18時11分50秒)
13	土	●下弦 (15:24)	28	日	●上弦 (17:16)